

2025 年 11 月 28 日

報道各位

ニューホライズンキャピタル株式会社

北日本運輸株式会社への資本参加について

ニューホライズンキャピタル株式会社（本社 東京都港区、代表取締役 安東 泰志）が運営するニューホライズン 4 号投資事業有限責任組合（以下総称して「弊社」）は、このたび、北日本運輸株式会社（本社 秋田県秋田市、代表取締役 三浦 正志、以下「北日本運輸」）への資本参加を行いましたのでお知らせいたします。

北日本運輸は、主に東北から関東・関西までをカバーする長距離輸送に対応する運送会社です。24 時間 365 日体制のきめ細やかな運行管理と、経験豊富なドライバーによる高品質な運送サービスにより、顧客から高く評価され、今日まで業容を拡大してまいりました。

多くの運送会社が、燃料費や資材費の高騰、ドライバーの不足や高齢化などの課題に直面しており、特に「2024 年問題」による働き方改革への対応が急務となっております。一方で、貨物輸送のニーズは旺盛で、政府や大手物流会社は国内の輸送能力の確保・拡充に向けて様々な取り組みを進めています。このような環境下において、経営基盤が充実した適応力のある優良な運送会社は、今後も大きな成長余地があると考えております。

弊社は、北日本運輸が培ってきた高品質な輸送サービスと堅実な運営体制を土台に、同社が今後、顧客の皆さまのご要望により一層応えられるよう、経営基盤の強化と組織力の向上を支援してまいります。また、優良企業主導の業界再編が今後も進むなかで、北日本運輸と事業シナジーが見込まれる運送会社との連携・M&A 等も検討し、持続的な成長を後押ししていく考えです。本件は、PE ファンドとして産業再編の触媒としての役割を果たすとともに、我が国の物流課題の解決に寄与する社会的意義の大きい地域企業への投資であり、弊社が掲げる「意義ある投資」に合致するものと判断し、資本参加に至りました。

なお、従来の取締役に加えて、弊社から新たに非常勤取締役及び非常勤監査役を数名派遣しております。

以上

ニューホライズンキャピタル株式会社について

2002年2月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から、2006年10月の会社分割を経て、通算23年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額2,900億円超）を有する。現在は、ニューホライズンキャピタルとして6本目、創業から10本目のファンドを運営中。2002年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとする弊社のチームメンバーは、フェニックス・キャピタルにおいて、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ等、また、ニューホライズン1号から4号ファンドにおいても多数の投資を実行し、ハウステック、シバウラ防災製作所、昭和コーポレーション、NITTO、平世美装等、開示可能なエクイティー投資先だけで約70社、全体では120社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先（弊社広報担当）：

インターナショナル・ファイナンシャル・コンサルティング株式会社

竹江、大谷 連絡先：03-5532-8921